

## 自立 克己 友愛

仁賀保高校に集う皆様、明けましておめでとうございます。令和 3 年が皆様にとりまして、希望の 1 年となりますように御祈念いたします。

旧年中は、新型コロナウイルス感染症に翻弄され、本校教育の柱である「地域との協働」による学びも制限されました。

「いちじく、番楽、ジオパーク」の 3 本の軸。言葉の最後が「く」になっているため、勝手に通称『「サンク」の神器』と決めつけて自負している私ですが、今年はこの取組みを通して、地域活性化に向けた積極的な行為、特にアウトプットすなわち、『自ら考え行動する「深い学び」』のために、インプットする知識の質と量を増やす必要があります。

「サンクの神器」に関する知識を教えてください。地域の知恵者に感謝し、令和 3 年度は、にかほ市が誇る地域教材をさらに開拓し、新たに「第 4 の軸」が登場することを願っております。

さて、今年はいよいよオリンピックが開催され、にかほ市はリベリアのホストタウンになりました。本校でもこれまで、この件に関して様々な支援を行って来ました。

教育活動の活性化に向けて、「第 4 の軸」の一例として、仁高生が英語のリスニングとスピーキング力を磨き、リベリアの人々とコミュニケーションを積極的に取れるようになれば、仁高生の自信に繋がると考えています。本校英語科 A L T、南アフリカ共和国出身のヨハン先生と英語科スタッフが、仁高版英会話集の制作を進めています。年度末には、みなさんに配付できると思います。

新しい年を迎えてもなお、終息には時間のかかるコロナ禍の中、不安感と閉塞感に陥らないためにも、厳しい環境の中でこそ、新たなチャレンジを積極的に実践する仁賀保高校でありたいと思います。

在校生と保護者の皆様、同窓会や地域の皆様、私たち仁賀保高校教職員は、皆様の期待に応えるべく令和 3 年も校歌の一節「世の光なる人たらんむ」「文武の道にいそしまむ」「母校の誉れ継ぎゆかむ」を意識し、社会に開かれた学校教育活動を通して、地域に愛され、地域の未来を担う人間を育てるという理念のもと、新しい時代を牽引する高等学校を目指します。

また昨年同様、「アイコンタクトⅡ」「トライアル&エラー」を合い言葉に、コロナ禍での制限やストレスを逆手にとって工夫・改善を進め、他校では味わえない教育活動を推進して参ります。

令和 3 年も、秋田県立仁賀保高等学校をよろしく願いいたします。

- ★ アイコンタクト ( i c o n t a c t 2 ) を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
- ★ メモ をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
- ★ 意識力 = 意思・意志 (瞬間) + 気力 (持続) です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
- ★ G T H は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
- ★ 「自己有用感」を高めてください。そのためにあなたはなにに挑戦しますか？自分が誰かの役にたつためには、感謝の心と自己肯定感を持つことが大切です！
- ★ N P T は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。N P T を意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、Trial&Error で進めましょう！